

千葉市制100周年記念・令和2年度特別展
「軍都千葉と千葉空襲 ―軍と歩んだまち・戦時下のひとびと―」を開催します！
～歴史講座や戦跡めぐりウォーキングなどの関連イベントも実施～

郷土博物館では、特別展「軍都千葉と千葉空襲―軍と歩んだまち・戦時下のひとびと―」を開催するとともに、関連イベントを実施しますので、お知らせします。

なお、開催にあたり10月27日（火）11：00から記者の皆さまへ展示説明会を実施しますので、併せてお知らせします。

1 特別展

(1) タイトル

「軍都千葉と千葉空襲 ―軍と歩んだまち・戦時下のひとびと―」

(2) 概要

千葉市は太平洋戦争中の昭和20年(1945)6月10日と7月7日を中心に大規模な米軍の爆撃を受け、中心市街地の約7割が焼失し、およそ1,600人の死傷者が出るなど甚大な被害を受けました。

戦中まで本市には、千葉連隊区司令部・鉄道第1連隊・気球連隊・千葉陸軍戦車学校など多くの軍事施設が設置されたことに加え、昭和17年(1942)に蘇我地先の埋立地で操業を開始した軍需工場の日立航空機千葉工場が存在したことが、米軍の空襲目標とされた主な要因となりました。

本展では「軍都千葉と千葉空襲」をテーマに、多くの軍施設が集まった「軍都」千葉市の状況及び2回にわたる千葉空襲とその被害を中心に据え、あわせて戦前戦中の市民生活の様相、並びに戦後における復興の進展及び本市の平和都市宣言などを紹介します。

(3) 期間

令和2年10月27日（火）～令和2年12月13日（日）

9：00～17：00（入館16：30まで）

※休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日が休館）

(4) 会場

千葉市立郷土博物館（中央区亥鼻1-6-1） 1・2階展示室

(5) 観覧料

無料

(6) 主な展示資料

約200点のうち、主な展示資料は以下のとおりです。（詳細は別添チラシを参照）

ア 稲石永吉「校舎は廃屋に帰す」旧千葉高女（校庭より医大をのぞむ。）（千葉県立千葉女子高等学校蔵）

イ B29プロペラ部品（足立区立郷土博物館蔵）

ウ 各種除隊盃（個人蔵）

エ 鉄道第1連隊で使用した軽便鉄道機関車模型（個人蔵）

オ 絵はがき「婦人従軍歌」（個人蔵）

2 関連イベント

(1) 歴史講座「戦争の惨禍を伝える」

ア 日時

令和2年11月15日(日) 13:00～16:00

イ 会場

千葉県文化会館小ホール(中央区市場町11-2)

ウ 演題及び講師

・「東京大空襲—千葉県との関わり—」

講師 石橋 星志 氏(すみだ郷土文化資料館学芸員)

・「千葉市の鉄道連隊関係遺跡の保存と活用について」

講師 小笠原 永隆 氏(帝京大学経済学部観光学科准教授)

エ 定員

80人(申込多数の場合は抽選)

オ 参加方法

要事前申込、申込方法など詳細は博物館ホームページをご参照ください。

【URL】https://www.city.chiba.jp/kyodo/tenji/kikakutenji/tokubetsu_2020.html

(2) 戦跡めぐりウォーキング

ア 日時

令和2年11月28日(土) 9:00～12:00

イ 定員

20人(申込多数の場合は抽選)

ウ 参加方法

要事前申込、申込方法など詳細は市民総務課ホームページをご参照ください。

【URL】<https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/somu/newsensekimeguri.html>

3 報道機関向け展示説明会

展示をご覧いただき、主な展示資料の見所等について担当職員からご説明します。

(1) 日時

令和2年10月27日(火) 11:00から

(2) 場所

千葉市立郷土博物館 2階展示室(中央区亥鼻1-6-1)

(3) その他

参加される方は、開催時間に直接現地へお越しください。

<参考>

1 広報用提供画像 ※画像をご利用される場合は郷土博物館までご連絡ください。



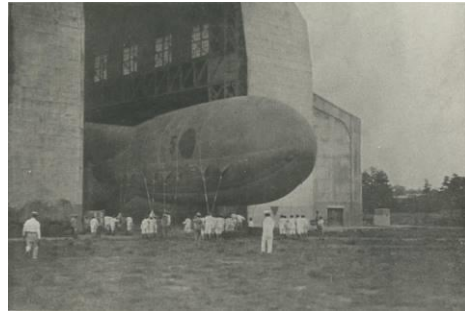
①写真「千葉県千葉商業学校軍事教練」
(千葉県立千葉商業高等学校蔵)



②稲石永吉「校舎は廃屋に帰す」旧千葉高女
(校庭より医大をのぞむ。)
(千葉県立千葉女子高等学校蔵)



③写真「吾妻町付近 (昭和21年8月)」
(当館蔵)



④写真「千葉気球隊」
(当館蔵)



⑤B29 プロペラ部品
(足立区立郷土博物館蔵)



⑥絵はがき「婦人従軍歌」
(個人蔵)